

シンポジウム「統計・データサイエンスにおける人材育成」

文部科学省の助成事業として発足した「統計教育連携ネットワーク (JINSE)」は、かねてより、大学および社会における統計教育の充実を目的とした活動を展開してまいりました。こうした中で、日本経済団体連合会においては、2018年12月公表の「今後の採用と大学教育に関する提案」として「文系・理系の枠を越えた基礎的リテラシー教育」を提言するとともに、経団連と国公私立大学のトップで構成される「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」の中間とりまとめと共同提言（2019年4月）においても「Society5.0時代の人材には、最終的な専門分野が文系・理系であることを問わず、リテラシー（数理的推論・データ分析力、論理的文章表現力、外国語コミュニケーション力など）と、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力が求められることが産学で共有された」と記されたところでもあります。そこで、統計教育連携ネットワークでは、経団連および情報処理学会の協賛を得て、「統計・データサイエンスにおける人材育成」と題し、以下の要領で、統計教育の重要性に関して議論するためのシンポジウムを開催いたします。関心をお持ちの企業および教育関係の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 2019年6月15日(土) 午後1時30分開始
会 場 経団連会館 2階「経団連ホール南」(収容人数140名程度)
参加費 無料(どなたでも参加できます)
共 催 統計教育連携ネットワーク・日本統計学会
協 賛 日本経済団体連合会・情報処理学会
後 援 内閣府、総務省、経済産業省(他依頼中)
申込み <https://forms.gle/qkxu5XZjBEZMjnFW9>

プログラム

司 会 椿 広計(統計数理研究所所長)

- 1 「JINSEにおける統計教育の質保証と人材育成」
美添泰人(統計質保証推進協会 理事長/青山学院大学経営学部 プロジェクト教授)
- 2 「データサイエンス教育と情報教育」
萩谷昌己(情報処理学会 情報処理教育委員会 委員長/東京大学 情報理工学系研究科 教授)

休 憩(コーヒーブレイク)

- 3 「日本統計学会における統計教育の質保証と人材育成に関する取組」
西郷 浩(日本統計学会 前理事長/早稲田大学政治経済学術院 教授)
- 4 「6大学コンソーシアムを中心とした数理・データサイエンス教育強化の取組」
北川源四郎(東京大学数理・情報教育研究センター 特任教授)

閉会のあいさつ 打診中(日本経済団体連合会)

一般財団法人統計質保証推進協会(竹内啓会長)は日本統計学会が設立した財団で、主要事業として「統計検定」資格試験を実施するとともに、連携団体および連携学会の協力の下に教材開発・提供の活動を行っている「統計教育連携ネットワーク(JINSE)」の事務局を担当しています。JINSEの活動に関して、連携団体の一つである日本経済団体連合会からは2012年以来ご支援をいただいています。

組織図は <http://www.qajss.org/soshikizu201903.pdf> をご覧ください。

事務局 一般財団法人 統計質保証推進協会
連絡先 E-mail: symposium X qajss.org
(“X”を“@”に変更して下さい)